



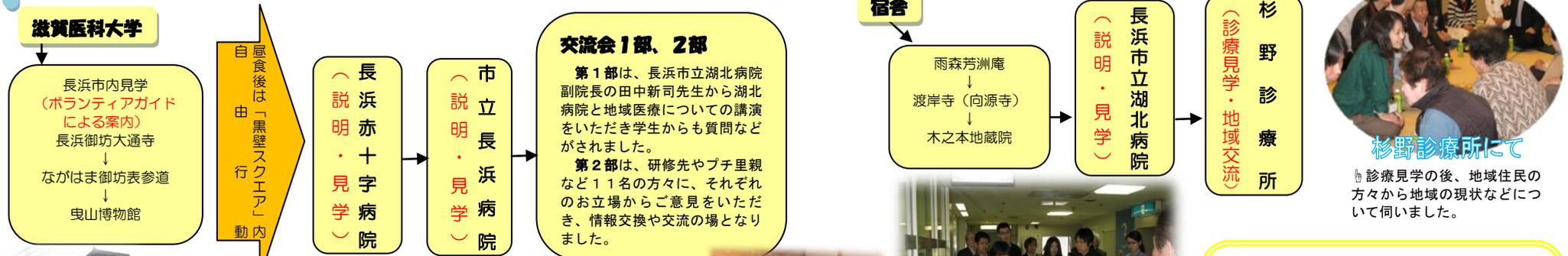
余呉・長浜等湖北方面での宿泊研修に参加しました!

発行日:2012/4/25 発行元:里親学生支援室

「余呉・長浜等湖北方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月22日(木)～23日(金)の春休み期間を利用して企画されたNPO法人滋賀医療人育成協力機構が実施する宿泊研修に、里親登録学生を含めた本学学生6名と里親学生支援室の職員7名が参加しました。今回は、その他の参加者として自治医科大学の学生1名とNPO法人滋賀医療人育成協力機構の職員1名の総勢15名での研修となりました。

1日目 長浜市の中心市街地見学と病院見学を実施 夜は、地域の先生にご講演いただいたり 訪問先の病院・市関係者やフ千里親の方々との交流会を実施

2日目 旧高月町・旧木之本町見学を実施 湖北の地域医療の中心病院や診療所を見学



杉野診療所にて
診療見学の後、地域住民の方々から地域の現状などについて伺いました。



曳山の蔵

大通寺

長浜赤十字病院にて
 病院長からの説明の後、震災時における石巻赤十字病院の活動記録DVDを視聴し、院内やヘリポートを見学しました。

滋賀の地域医療の現実、医師不足の背景など、教えられること、考えさせられることが沢山ありました。特に、湖北で働く先生方が湖北の土地と人を愛し、地域の医療を支える使命感を強く持っておられたのが印象的でした。改めて滋賀の地域医療がとても魅力的なものに感じられる2日間でした。〈医学科 2年〉

学生の感想文より

長浜病院にて
 副院長先生の説明の後には、滋賀医大卒業の先生から、体験談に基づくアドバイスをいただき、その後、院内を見学しました。

東京都出身ですが、将来滋賀県で働くことを視野に入れ県のことをもっと知りたいたいと思い参加しました。特に湖北のへき地医療を担う杉野診療所の風景が心に残りました。利用者の方々の話にじっくり耳を傾けながら診察を進めていく先生の姿を拝見し、その地域に求められる医療を提供できることが大切だということを感じました。〈医学科 2年〉

交流会第1部・第2部にて
 普段は行きたくてもなかなか行く機会がなかった長浜を中心とした湖北に触れ、またその地域医療を垣間見られたことは、滋賀での医療従事を希望する私にとって貴重な体験でした(郷土食であるのっぺいうどんや鮎寿司も美味でした)。地元の方々から「期待しています」とのお言葉をいただきましたが、これを糧に更なる日々の勉強に励みたいと思います。〈医学科 1年〉

湖北病院にて
 併設する介護老人保健施設や院内を副院長先生の説明のもと見学しました。

今回、地域住民の方々も交えた交流会に参加させていただいた中で、医療を求める切実な声や在宅での看取りに対する考えなどを直接伺うことができ、普段の大学内での学習のみではなかなか得られない貴重な機会となり、「地域の方々によって医師は育てられる」という言葉に実感がつくようになりました。〈医学科 4年〉

里親研修旅行に参加するのはこれで三度目になります。長浜にある病院見学や観光地を訪問させて頂き、また一つ、滋賀の魅力に触れることができました。たった二日間ではありましたが、自分の地域医療に対する姿勢を問い直し、もっと真剣に考えなくてはならないのではないかと感じた貴重な時間になりました。〈医学科 2年〉

この研修には今回初めて参加させて頂きました。以前より地域医療に関心はあったのですが、今回の研修で実際に地域に根ざした医療のあり方を見る事ができ、また観光で滋賀の良さを改めて感じる事ができました。生まれ育った滋賀の為に、医療人として自分は何ができるのかを考えていきたいと思えます。〈看護学科 1年〉

詳しくは、地域里親学生支援のホームページ
[\(http://satooya.shiga-med.ac.jp/\)](http://satooya.shiga-med.ac.jp/) をご覧ください!